

いきいき！ボイストレーニング科

日時：2022年11月15日（火）

場所：池田市 ナムの広場

講師：松本城洲夫先生 と アンサンブル・サビーナ 受講生の作品→



第21回 「アンサンブル・サビーナ演奏会」

【講義の内容】

今年度2度目の松本城洲夫先生の講義「北米・中南米の音楽の歴史について」と、それぞれを代表する音楽をアンサンブル・サビーナの演奏（♪印）で聴いた。

■新大陸発見後、北米にはイギリス、フランス等が入植。奴隷として酷使された黒人の魂を歌った黒人霊歌（スピリチュアル）が、その後のアメリカ音楽の基礎となった。



♪「ディープリバー」、「漕げよマイケル」（松本先生の素敵なボーカル＋演奏）

○フォスター 黒人の生活に共感した曲を多数作った。「おおスザンナ」（ジョン万次郎が覚えて日本に伝えたと言われる）「草競馬」「オールドブラックジョー」等

♪「スワニー河」、「夢路より」（みんなで歌＋演奏）

■南北戦争後リンカーンによって奴隷解放宣言が出されたが、その後も黒人への差別は続き今に至る。音楽の世界ではジャズ、ロック等ブラックミュージックが広がる。

○ガーシュイン ジャズとクラシックの両面で活躍。

♪「スワニー」

○プレスリー ロックンロールの誕生と普及に大きく貢献、「監獄ロック」

■ベトナム反戦運動や公民権運動の中でプロテストソングが生まれた。

♪「We shall overcome」 みんなで歌＋演奏

■中南米ではポルトガル、スペインの入植による人種のるつぼからラテン音楽が生まれた。

○キューバ（マンボ、チャチャチャ）、メキシコ（マリアッチ）、ブラジル（サンバ、ボサノヴァ）、アルゼンチン（タンゴ、サンバ）、ペルー（ケーナなど竹を使った楽器）

♪「ラ・クンパルシータ」（アルゼンチンタンゴ）♪「コンドルは飛んでいく」（ペルー民謡）

最後にみんなで♪「冬の星座」を歌った。

【午後】

ふれあい交流祭に向けての歌およびパフォーマンスの練習および細かい打ち合わせ。

- ・入場時は楽譜の背を下にして右手で持つ。
- ・パフォーマンスのセリフは原稿なしで言えるように。
- ・マイクを講座生同士で直接回すのは禁止。CAが消毒をして渡す。
- ・3曲の歌は、各班の前に立っているマイクの周囲で歌う。

来週22日は最終練習日となる。みんな和気あいあいと頑張りよう。



（いきいきボイストレーニング広報担当）